

広島県立文書館「収蔵文書展」の開催について

〔令和3年3月3日〕
総務課

1 要 旨

広島県立文書館では例年、3月末から収蔵文書を紹介する大規模展示「収蔵文書展」を開催しています。

今回は、明治4年の廃藩置県により広島県が誕生して今年で150周年を迎えることを記念して、「資料からみた広島県庁舎の歴史」と題して次のとおり開催します。

原爆などによる2度の焼失と8回の移転を経て、現在の場所（広島市中区基町）に県庁舎が建てられるまでの変遷をたどる内容となっています。【別紙のとおり】

2 開催期間

令和3年3月29日（月）～6月12日（土）

※新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、開催を延期又は中止する場合があります。

3 開催場所

広島県立文書館 展示室（広島県情報プラザ2階）

4 開館時間

月～金曜日：9時～17時、土曜日：9時～12時まで ※日曜日、祝日は休館

5 入場料

無料

6 問合せ先

広島県立文書館（〒730-0052 広島市中区千田町三丁目7-47 広島県情報プラザ内）

電話 082-245-8444

7 その他

収蔵文書展のテーマに関連した「文書館講演会」を開催します（4月上旬に参加者募集開始予定）。

日 時：令和3年6月5日（土） 10:00～12:00

会 場：広島県立文書館 研修・会議室